

No. 405

農業の話をしよう!! ····· JA月形町広報誌

まんまるはーと月形町



旬の新鮮情報

2011年3月号

JA月形町女性部通常総会

## JA女性部通常総会



### 3月のこよみ

(大) 弥生 (やよい)

福や草木が、弥すます生い茂る月という意味です

- 1日 【全国火災予防運動】
- 3日 【ひな祭り】
- 6日 【啓蟄】  
地中で冬眠した虫類が陽気で地上にはい出す頃の意
- 18日 【彼岸入り】仏事
- 21日 【春分の日】春の彼岸の中日
- 24日 【彼岸明け】仏事

### 今月の行事予定

- 1~4日 · 地区別懇談会
- 5日 · 月形地区 TPP交渉参加  
反対集会
- 9日 · 臨時理事会
- 24日 · 第2回 理事会

URL <http://www.hamanasu.to/ja-moon>

# 第56回 JA女性部通常総会



二月十五日、多目的研修センターに於いて、第五十六回JA月形町女性部（大江孝子部長）通常総会が行われました。

大江部長は「昨年は、春

先より融雪の遅れや天候不順の影響を受け、生育の遅れが心配されましたが、夏場以降は、高溫が続き、米については、ほぼ平年作となりました。しかしながら、小麦は収穫時期の雨等により品質低下を招き減収となり、花き、果菜類においても出荷の遅れを取り戻す事が出来ず、出荷量が減少し、満足のいく出来では無かつたと聞いております。本年度においても、戸別所得補償制度が本格実施され農業政策が大きく変わることから、私たちは不安と期待を抱きながら営農を開始する事となります。

我々女性部としては、関係機関の方々のご協力を得ながら、月形の基幹産業である農業を元気付け、手助けとなるような活動を進めて参りたいと思います。本日一二二年度の活動報告及び二三年度の活動計画等をご提案させていただきます。部員の皆様の活発なご意見等をお願い申

し上げます。」と挨拶しました。  
続いて、土橋副町長、柴田JA組合長、及川普及センター次長、石川JA青年部長より祝辞を頂戴し、議長には昭栄の作井かつえさんが選出され議事が進行されました。

提案された議案は、全会一致で可決され、出席された部員は、総会後に行われた懇親会で親睦を深めておりました。



JA女性部新役員

副部長	柳千恵
代表監事	中村三賀子
監事	福井百合子
田畠弘恵	

## フォトニュース



J A青年部がスノーメッセージを作成しました。



J A女性部が味噌作りをしました。



平成22年度草づくりコンクール表彰式に於いて、久保純一氏が受賞致しました。

## 平成22年度(第63回) 通常総会の開催について

平成22年度(第63回)通常総会を下記のとおり開催致しますのでご案内申し上げます。

**開催日時 平成23年4月5日(火)午後1時30分**  
**開催場所 月形町多目的研修センター**

お知らせ

## 【よい食通信】 ◇農業の多面的機能を学ぼう！◇

『よい食』を支えてくれている農業。実は、私たちの食べ物を提供してくれるだけでなく、生活にかかる様々な機能も持っています。これを「農業の多面的機能」といいます。農業の多面的機能には、どのようなものがあるのでしょうか。具体的には、国土・水資源・環境・文化・教育・福祉・健康など、現代社会の様々な課題の解決にかかる重要な機能があります。その一部を紹介します。

まず、自然災害を緩和する機能。日本は、島国で傾斜地が多い地形です。高い山々があり、そのおかげで雪崩や豊かな水資源にも恵まれています。一方で、台風や大雨が来ると、河川の氾濫や洪水など水にかかる災害が多い土地もあります。

水田や畑は、ダムやため池の様に雨水を一時的に溜めてくれます。溜まった水は、時間をかけて少しずつ流れ出します。河川の氾濫を抑えて、洪水を防ぐ働きがあります。次に、大気を浄化して、気候を和らげる働きがあります。

水田からの蒸発に加え、農地で栽培される作物は、太陽の光を浴びて、二酸化炭素を取り込み酸素に変える「光合成」をしたり、根から水を吸い上げ葉から水蒸気にして放出す「蒸発散」を行っています。これによって、田や畑などの緑地では、大気汚染物質である亜硫酸ガスや二酸化窒素などを吸収し、無害な物質に変える働きもあります。

また、農村そのものに、様々な自然や生き物、歴史や文化があります。都市生活で疲れた心と体をリフレッシュさせてくれる上、自然体験や農業体験を通して、生きがいやゆとりある暮らしを提供してくれるのであります。

## 平成22年産 米・小麦・大豆検査実績

平成22年産米・小麦・大豆について、系統一元集荷にご協力賜りお礼申し上げます。検査状況については、以下の通りです。

### ◇平成22年産米（単位：俵）【平成23年2月末時点】

品種	1等	2等	3等	合計
きらら397	31,120	0	0	21,120
ほしのゆめ	324	0	0	324
ななつぼし	31,045	0	0	31,045
ゆめぴりか	3,200	0	0	3,200
おぼろづき	1,219	0	0	1,219
うるちその他	328	0	0	328
合計	67,239	0	0	67,239

※きらら397・ななつぼしの現在サイロにて貯蔵されている分は除いております。

### ◇平成22年産小麦（単位：俵）

品種	1等	2等	規格外	合計
ホクシン	5,068	1,788	4,145	11,001
きたほなみ	3,306	285	1,931	5,522
春よ恋	508	2,190	1,581	4,279
合計	8,882	4,263	7,657	20,802

### ◇平成22年産大豆（単位：俵）

品種	1等	2等	3等	合格	合計
大粒	とよまさりトヨムスメ	0	2,645	2,870	517 6,032
	とよまさりトヨハルカ	0	1,460	1,148	0 2,608
	ツルムスメツルムスメ	0	0	6	0 6
中粒	とよまさりトヨムスメ	0	50	104	31 185
	とよまさりトヨハルカ	0	35	47	20 102
小粒	トヨムスメ	0	0	0	13 13
	トヨハルカ	0	0	0	7 7
合計	0	4,190	4,175	588	8,953



3月5日多目的研修センターに於いて、農業関係者・町民200人が出席し、TPP(環太平洋経済連携協定)交渉参加反対集会が開催されました。

集会では、JA月形町TPP対策本部長である、柴田組合長が「国民の食料基地である北海道では、第一産業に携わる関連産業を含めると、約2兆200億円の損失が発生する。」と挨拶し、TPP交渉参加阻止を皆で勝ち取ろうと呼びかけました。

その後、来賓である月形町長 櫻庭誠二様・月形町議会議長 吉田義一様・JA中央会岩見沢支所長 阿賀準一様・空知農民連合委員長 植田泰啓様より挨拶を頂き、集会の最後には、月形商工会長 相田幸雄様によるシナプスヒコールで参加者全員こぶしを高く掲げ声を合わせてTPP交渉参加反対を主張した。





# 理事会だより

## 第一回理事会議案

(一月十九日開催)

こんにちは農民連盟 -2月-

- 2日・帳簿記帳指導（10日迄）  
四役・税対委員
- 3日・空知農民連合第51回定期  
総会 四役・常任委員
- 14日・北海道農民連盟第37回定期  
総会 委員長・副委員長
- 15日・盟友 中嶋 雅義 宅葬儀  
委員長
- 23日・申告手続（25日迄）  
四役・税対委員

### ホクレン♪スタンド情報♪

ハイオク	<b>160</b>	円/l(税込み)
レギュラー	<b>150</b>	円/l(税込み)
軽油	<b>135</b>	円/l(税込み)
灯油	<b>94</b>	円/l(税込み)

（3月18日現在）

ハイオク・ガソリン・軽油の店頭払いは現金・クミカンの場合2円引きです。  
第2・4日曜日は定休日です。

## 農協文庫 今月号

### 新刊のお知らせ

今月の農協文庫の新刊をお知らせします。



#### 地域農業の担い手を育てる 実践！農業者養成講座

二木 季男 著

「作る農業者」から、「経営する農業者」へ。「出雲市アグリビジネススクール」が実践する農業者教育を詳しく解説。地域農業の中核を担う人材づくりのための講義内容や事例など、具体的なノウハウを紹介。

#### だれでもできるはじめての野菜づくり決定版

麻生 健 著

野菜づくりの知識がなくても、安全でおいしい野菜が作れる！栽培プロセスから土づくりや病害虫対策、作付け計画まで、豊富な写真でていねいに解説した家庭菜園入門書の決定版。野菜別におすすめ品種も多数紹介。

#### 悩みも苦しみもメタクリ！

三輪 明宏 著

人間関係、家族や仕事の事など、様々な悩みを三輪明宏がバッサリ斬り捨てる！不安を抱える相談に、知性と愛情に溢れた回答はわかりやすく、心に明るい光を差してくれる。賢く前向きに生きるためのヒントが満載。

#### フルーツでお菓子と保存食

小嶋いずみ 編

イチゴ、ブドウ、リンゴ、柑橘類など、旬のフルーツのちょっとした食べ方の工夫から、ジャムやコンポートなどの保存食、さらにそれを使ったお菓子のレシピまで、国産フルーツを存分に楽しめるレシピが満載。

#### 産地直伝 本当においしい野菜のレシピ

藤井 恵 著

野菜の魅力を知っている生産者と藤井恵がつくる、素材の味を引き出すとっておきの野菜レシピ。また、生産者ならではの野菜の保存の手順や調理がスムーズにできるワザも。23種の食材の新しい魅力と出会える。

#### TPPを考える

「開国」は日本農業と地域社会を壊滅させる

石田 信隆 著

突然浮上したTPP騒動は、国内の議論がまったくないままに政府方針となってしまったが、TPPははたして本当に「開国」なのか。本書はTPPが農業と暮らしに及ぼす重大な影響をわかりやすく解説。